



お茶のおいしい!季節です!茶畑から製造直売の
安心安全のお茶。「日々の健康は我が家の食卓から」です。
特別栽培のお茶もお楽しみ下さい。

市川大楽園製茶おいしさの秘密

- ①茶畑を浅く刈ることにより、新芽の柔らかい部分だけで風味良く、すっきりとしたお茶を造ります。
- ②5日~7日間程度のかぶせを行います。緑濃くして旨みを引き出し若い芽の香りの良い部分とを両立させてバランスのとれた味に仕上げます。今年から3haへとかぶせる面積を2倍に増やしました。
- ③約5ha(東京ドームより広い)の広々とした茶畑から出来の良い茶畑を選び製造・販売をしています。
- ④農薬の使用を半分におさえた、減農薬(特別栽培茶)の安心安全なお茶です。
- ⑤店主の市川泰三が茶畑の栽培から製造販売まで一貫してお茶づくりをしています。各直売店に試飲販売にも立ちお客様の声を生かします。



店主の市川泰三が自らお茶を刈るので茶畑を見ながら刈る深さも微調整できます。

特別栽培農産物の認証取得
化学肥料・化学合成農薬の使用回数を
慣行レベルの5割削減しました。

「みえの安心食材」の
認定も継続中



市川大楽園製茶のお店



かぶせる面積を増やしました。

ご注文は TEL 0595-85-0321 FAX 0595-85-3005
〒519-0221 三重県亀山市辺法寺町811 <http://oishiocha.com>

日曜日、祭日は定休日になっておりますがお電話のご注文は毎日受け付けいたします。
水、木は配達のため店を空けることがありますので、ご来店の際はお電話でご確認ください。

お茶の美味しい季節です

お茶新聞

2017年
ふゆ号

秋の収穫終わりました。

十月はこれがほとんどの梅雨かと思っぐらい雨が多かったですね。そしてようやく秋の収穫が終わりしました。夏からぐんぐん伸びたお茶の葉を豪快に刈っていくので、すから、ボサボサ頭が一気にサッパリした感じですね(笑)。

秋番茶は五月にとれる一番茶とは違い、新芽と硬くなった親葉と一緒に揉むので茶葉の形は当然大きくなります。秋番茶は「ほうじ番茶」や「川柳」の材料になるのです。濃厚な煎茶とはまた違うスッキリとした飲みとさわやかさが味わえますね。



良く伸びた秋番茶を刈った後はサッパリ

発行元
亀山市辺法寺町
811
市川大楽園製茶

電話
0595-85-0321
FAX
0595-85-3005

お礼のメッセージをいただきました

ありがとうございますにお客様の方からお礼のメッセージをいただき、こころが多々あります。もちろんお礼を言わねば私どもの方です。

他のどこにもないお茶を作っていることが評価されているのだと思います。

とても励みになりますね。お客様と近いところで仕事をしているので、親しみを感じて下さったのだと思います。感謝しかありませんね。いただいたメッセージは事務場のデスクに貼った後にファイルして保管してあります。土気がグーンと高まります。

市川大楽園様

本日早々秋番茶送って頂き有難う御座いました
明日代金送らせて頂きます又来年も
宜しくお願いします
お宅の番茶をわが家では1年中飲んでいま
他所でお茶を頂いても味がありません
秋の新茶だよと皆さんにも分けしています
今年はずかの間天気も雨の日が多いですね。
これから寒い季節になりますお体に気おつけて
お過ごし下さい。

平成29年10月11日

FAX でお礼をいただきました。

地元小学生のお茶摘み体験。

小学校三年生の子供たちが私どものお店の前の茶畑で手摘み茶体験を行いました。大きく伸びた秋番茶のまだ柔らかい一心二葉を教えて摘んでもらいました。子供たちが摘んだお茶はレジ袋に入れて持ち帰ってもらいました。そして実演で電子レンジでお茶を作りました。摘んですぐ飲めるので鮮度抜群でおいしかったです。事前に練習してあったのでうまくできました。

当日は子供たちに注目されてあせったのか揉んでいるうちに皿からお茶の葉がこぼれてしまい、淹れたお茶がかなり薄くなってしまうました。それでも子供たちはほのかな味と香りを楽しんでいました。あとで飲んでもらった一番茶の粉茶でつくった冷茶よりもレンジで作ったお茶の方がおいしかったという子も何人かいて、ホッしました。

来年三学期には恒例の手もみ茶体験とお茶の淹れ方教室で小学校に教えに行くことになっています。元気な子供たちにまた会えるのが楽しみです。



いい天気にも恵まれました。

うちの画伯

私市川大楽園製茶店主市川泰三の案内、市川千佳がこのニューズレターのイラストや店頭のポップやパッケージの絵、発送の時に入れさせていただいているお手紙を書いています。美術大学出身で販売会社の営業部でデパートなどのディスプレイを担当していました。もともと経験はあったのですが、お茶の仕事を手伝うようになつてから、仕事の面でもイラストを描いてくれるようになりました。お茶を詰めたり、発送、配達と忙しい合間にいろいろと描いてくれるのでありがたいです。たまにお客様から似顔絵を描いてほしいと頼まれることもあり。家内はどんな絵でもさらさらと描いて筆が早いのです。電話の応対をしているのも家内です。これからもいつもの一筆お手紙を続けていきますので未熟ものですがよろしく願います、とのことでした。



うちの画伯